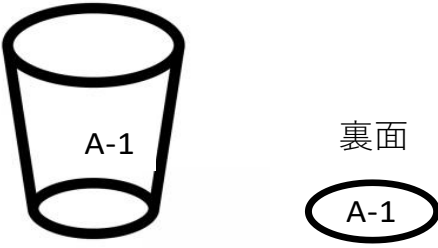


プログラム名	備前焼体験		活動時間 2時間
概要	<p>○備前焼作家の指導により、本格的な備前焼に挑戦しものづくりの楽しさを味わう</p> <p>○持続的な伝統産業の発展について考える。</p>		
ねらい (SDGs)		<p>○備前焼を実際に作ることで、伝統工芸品について知る。</p> <p>○ものづくりの楽しさを知り、技術の基礎を学ぶ。</p>	
準備物 (服装など)	<p>○教育センター・・・作業板、作品カード、新聞紙 ヘラセット、ごみ袋、手回しろくろ 電動ろくろ</p> <p>○研修団体・・・汚れてもいい服装(運動着、上着のみでも可)</p>		
研修の流れ	<p>○集合場所に集合(団体引率者の指導)</p> <p>○活動の流れや道具の確認(センター職員)</p> <p>○焼き物や備前焼についての説明</p> <p>○活動開始/終了</p> <p>○片付け</p>		
研修場所	<p>集合場所</p> <p>○屋内・・・第1研修室 3-5研修室 視聴覚室</p>	<p>活動場所</p> <p>集合場所に同じ</p>	
引率者への留意点	<p>○事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の受け取り方法の決定 着払い or センター受け取り ※センターに作品が到着次第、連絡します。 ※佐川急便にて着払いをしています。 ・備前焼体験プログラム申込書の提出(別紙) <p>○研修当日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動中、研修生の観察指導をお願いします。 ・準備や片付けの時に補助をお願いします。 		

研修の内容

- ①集合場所にて集合する。
※活動開始時刻に整列が完了している状態。
※机とイスが準備されている場合は着席してください。
- ②センター職員が活動の流れや道具の確認などの説明をします。
 - ・ 5分程度
 - ・ 準備された道具について
 - ・ 作品カードについて
 - ・ 完成後の確認について など
- ③備前焼作家もしくはセンター職員が、
焼き物や備前焼の歴史について、スライドを用いて説明します。
 - ・ 30分程度
- ④備前焼作家が手びねりによる作り方を説明します。
 - ・ 5～10分程度
- ⑤1人1つの粘土を配布し、作る工程が始まります。
 - ・ 1時間程度
 - ・ 備前焼作家が指導や補助にあたります。
- ⑥作品が完成したら、作品カードとともに確認します。
 - ・ 作品が自分のものと分かる文字やイニシャルなどがあるか。
 - ・ 作品カードに書いてあるものが作品と一致しているか。
 - ・ 作品完成目途のおよそは、終了時刻の20分前程度。
- ⑦終わった人から片付けをしていきます。
 - ・ 余った粘土は回収する。
 - ・ 自分が使った手回しろくろや作業板を返却する。
 - ・ 机を拭く。
 - ・ 手洗いは、宿泊棟そばの洗面所を使ってください。
- ⑧終了の挨拶をします。(センター職員進行)
- ⑨机やイスを片付け、床はモップがけをします。

団体名 ○○○○	名前 ■■ ■■
	

※作品カード